



平成 18 年 6 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社サーラコーポレーション
代表者名 取締役社長 神 野 吾 郎
(コード番号 2 7 3 4 東証・名証第 1 部)
問合せ先 IR 推進室長 望 月 志 郎
(TEL . 0 5 3 2 - 3 3 - 8 8 7 7)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 18 年 1 月 20 日の決算発表時に公表した、平成 18 年 11 月期連結業績予想 (中間期・通期) を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

- 1 . 平成 18 年 11 月期中間連結業績予想数値の修正 (平成 17 年 12 月 1 日 ~ 平成 18 年 5 月 31 日)
(単位 : 百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	75,700	2,350	416
今 回 修 正 予 想 (B)	76,650	2,660	994
増 減 額 (B - A)	950	310	578
増 減 率 (%)	1.3	13.2	139.0
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 11 月期中間)	68,824	2,633	1,630

- 2 . 平成 18 年 11 月期連結業績予想数値の修正 (平成 17 年 12 月 1 日 ~ 平成 18 年 11 月 30 日)
(単位 : 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	146,180	3,010	596
今 回 修 正 予 想 (B)	146,180	3,010	1,070
増 減 額 (B - A)	-	-	474
増 減 率 (%)	-	-	79.5
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 11 月期)	136,837	2,880	2,664

3. 修正の理由

(1) 平成18年11月期中間連結業績予想数値修正の理由

「売上高」につきましては、当初予想どおりとなる見込みではありますが、「経常利益」につきましては、「エンジニアリング&メンテナンス事業」及び「その他の事業」の営業利益が、それぞれ順調に増加したことなどにより、当初予想を310百万円上回る見込みであります。

また、持分法適用関連会社サーラ住宅㈱の株式上場時の増資により、特別利益において「持分変動利益」143百万円が発生したのに加え、退職給付制度の改定に伴う特別利益が、当初予想に織り込んでいた550百万円に対し、74百万円増の624百万円となる見込みとなりました。

一方、特別損失においては、「減損損失」が、当初予想に織り込んでいた1,580百万円に対し、155百万円減の1,425百万円となる見込みとなりました。

以上により、「中間純利益」の予想を修正するものであります。

(2) 平成18年11月期連結業績予想数値修正の理由

通期の見通しにつきましては、「エネルギーサプライ&ソリューション事業」の利益に影響を及ぼす原油価格の動向や、「エンジニアリング&メンテナンス事業」、「カーライフサポート事業」の業績の動向が不透明でありますので、「売上高」及び「経常利益」の予想は据え置きますが、「当期純利益」につきましては、中間純利益の増加に伴い予想を修正するものであります。

以 上